

特集2-3P企業版ふるさと納税で寄附された  
福井大学医学部の手術支援ロボット「ダビンチ」

# まち



永平寺町議会だより

第82号 INDEX

令和8年5月1日発行

特集

企業版ふるさと納税、知っていますか？ P2～3

そこが聞きたい！

議員11人が一般質問 P11～15

議会だよりは  
こちらから  
ご覧いただけます

永平寺町議会

検索



永平寺町議会  
Facebook



# 企業版ふるさと納税、知っていますか？

仕組みは次ページで解説！

セーレン株式会社 取締役専務執行役員 勝木知文様へのインタビュー



深く共感したことがきっかけです。福井県でも高齢化が進み、身体への負担が少ない手術へのニーズは年々高まっています。当社は「人材は資本」という考えのもと健康経営を推進しており、地域全体の医療体制が維持・発展することは非常に重要だと捉えています。また、医療現場の人材確保や働き方改革といった課題に対しても、本事業が医療提供体制の強化につながることを期待し、支援を決定いたしました。

今回の寄附の決め手と、医療機器「ダビンチ」への支援を選ばれた理由を教えてください。

福井大学様とは以前から共同研究などで深い関わりがあり、今回同病院が進める「遠隔操作手術支援ロボット」の意義に備事業への意義に

この寄附を通じて、どのような未来を期待されていますか？

「ダビンチ」の導入が、地域の皆様に安心で高度な医療を届ける一助となることを心より願っております。また、今回のふるさと納税を通じて、福井大学病院の医療充実だけでなく、その一部が永平寺町の医療体制の充実にも活用されると伺っています。病院と町が連携し、地域の皆様の安全・安心な暮らしが守られることを期待しています。



遠隔操作手術支援ロボット「ダビンチ」本体

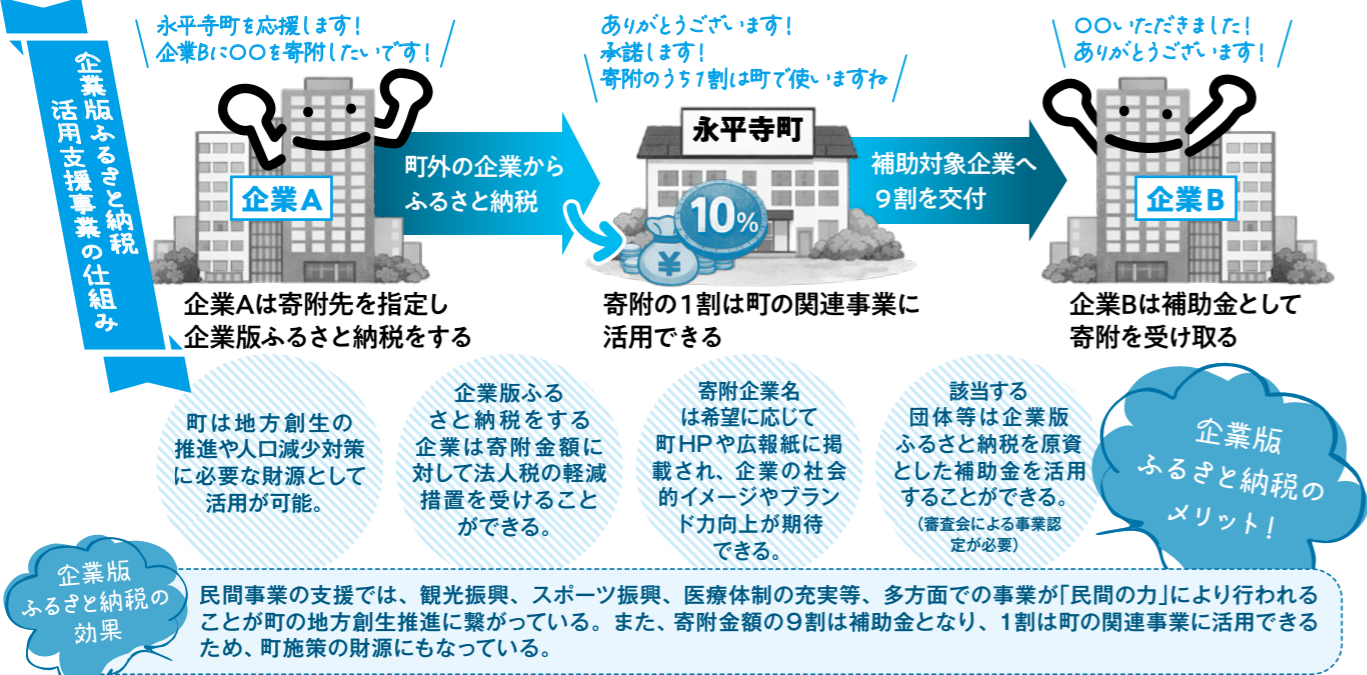
の未来に貢献する取り組みを継続してまいります。

国立大学法人 福井大学 副医学部長 外科学1教授 医学博士 五井孝憲様へのインタビュー



「ダビンチ」が導入されることで、治療や患者さんへの負担はどのように変わるのでしょいか。

一言でいうと、\*患者さんの体にとっても「やさしい治療」\*が可能になります。例えば、これまでの手術でおなかなどを約10cm〜15cm切開する必要があったケースでも、ダビンチを使えば1cm程度、つまり約10分の1の傷口で済みます。これにより出血量が大幅に減り、体への負担が少なくなります。回復が早くなり、早期の退院にもつながります。また、医師にとっては、高精細3Dの拡大視野で見やすく、骨盤の奥などの狭い場所でも神経等を傷つけない精密な手術が可能です。この手術支援ロボットを使った治療は昨年だけで200件に上ります。さらに、このロボットは手術の事前シミュレーション(模擬訓練)も行えるため、これからの時代を担う若い外科医の育成にも大きく役立てることができそうです。年間400件以上の症例と、5年間でロボットを操作するためのライセンス資格取得者60人を目指していきます。



企業版ふるさと納税のメリット！

民間事業の支援では、観光振興、スポーツ振興、医療体制の充実等、多方面での事業が「民間の力」により行われることが町の地方創生推進に繋がっている。また、寄附金額の9割は補助金となり、1割は町の関連事業に活用できるため、町施策の財源にもなっている。

地域スポーツクラブチームによる地方創生支援事業(令和5年度~)	寄附額 : 8,200万円 ※令和4~6年度
・ 福井永平寺ブルーサンダーの活動を支援	補助金額: 7,380万円
第二期門前再生事業(令和5~6年度)	寄附額 : 9,351万円
・ 大本山永平寺門前での店舗整備等を支援	補助金額: 8,415万円
カヤックスクール施設整備事業(令和5年度)	寄附額 : 1,120万円
・ 九頭竜川でのカヤックスクール施設の整備を支援	補助金額: 1,008万円
遠隔操作手術支援ロボット整備事業(令和8~12年度)	寄附目標額: 2億3,709万円 (5年間累計)
・ 福井大学医学部附属病院の手術支援ロボットの整備を支援	
九頭竜川パドリングセンター施設整備事業(令和8年度)	寄附目標額: 2,000万円
・ 九頭竜川で行う観光アクティビティに必要な環境や施設の整備を支援	



ふるさと納税 個人版・企業版の違い	
ふるさと納税(個人)	企業版ふるさと納税
個人が自治体へ行う寄附のこと。自分の故郷や応援したい自治体など、好きな自治体を選んで寄附ができる。	国が認定した自治体の地方創生プロジェクトに対して、企業が行う寄附のこと。物品による寄附も可能。本社所在地以外の自治体への寄附が対象となる。
ふるさと納税制度の活用により、「第2次永平寺町総合振興計画」に掲載の各種施策の財源確保や、町内の大学・専門学校・福祉事業者を支援する。	企業版ふるさと納税制度の活用により、「永平寺町デジタル田園都市構想総合戦略」を基にした、地域再生計画に掲載の各種施策の財源を確保する。
自分の選んだ自治体に寄附(ふるさと納税)を行った場合に、寄附額のうち2,000円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される。(一定の上限あり)	寄附を行った企業の法人関係税から税額控除する。損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)と合わせて、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担は約1割まで圧縮される。
あり	なし
令和4年度: 9,674万円 令和5年度: 1億 20万円 令和6年度: 1億3,009万円 令和7年度: 1億6,400万円(見込)	令和4年度: 6,221万円 令和5年度: 9,990万円 令和6年度: 4,170万円 令和7年度: 1億1,160万円(見込)
町内の大学や専門学校、福祉事業者に対してふるさと納税(返礼品無し)を活用し支援。	町の地方創生に貢献する事業を実施する団体に対して企業版ふるさと納税を活用し支援。

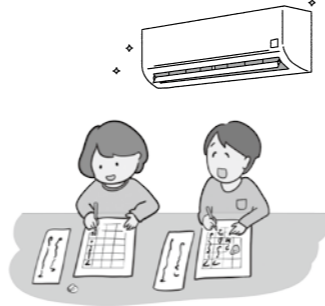
令和7年度 所管事業の推進状況の意見交換

教 育 生  
民 生 常 任 委 員 会

■学校体育館空調設備について

教育施設として、また緊急時の広域避難施設として、各小中学校の体育館の空調設備の工事が、今年度から令和8年の夏休み迄に工事が進められている状況を確認し、次の事項を要望、指摘した。

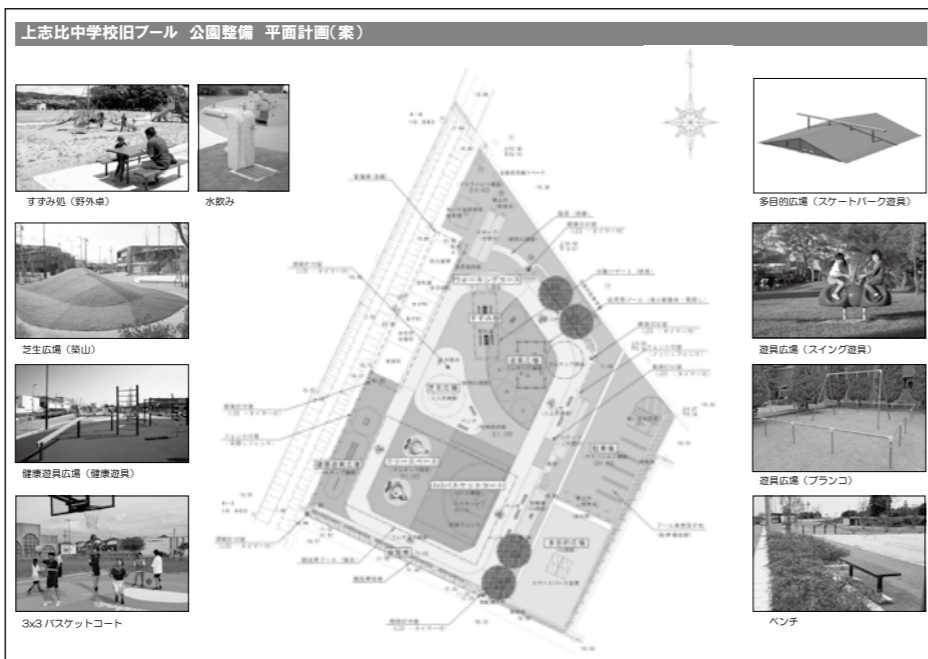
- ・各学校の工期が重なると考えられるので、令和8年度の夏期までには使用可能の工程管理を
- ・工事期間中の安全と、体育授業に支障がないよう、代替体育館の利用も視野に入れて欲しい



■上志比プール跡地の再利用計画について

プール跡地の再利用については、住民の要望に添って幼児から高齢者まで、幅広い世代が集える公園機能を備えた施設として整備に入る報告を受け、次の事項を要望、指摘した。

- ・住民説明会、要望の対応を
- ・対象者ごとの施設や涼みどころ、駐車場など利便性も考慮に



■健康福祉施設（温泉）の修繕計画について

禅の里温泉は、住民や観光者に愛される施設として10年以上経過し、さらに利用者からの利用、愛着ある施設としての修繕計画を立て運用を図るに当たり次の事項を要望、指摘した。

- ・利用状況把握や修繕計画の柔軟運用で愛される施設に
- ・今後のリニューアル改修も視野に施設整備や運用の検討も



令和7年度 年間テーマまとめ

総 務 業 務  
産 建 設  
建 設 常 任 委 員 会

■永平寺町観光地経営戦略を精査

前々号で特集した町観光の司令塔となる観光DMOの設立に向けて、見出し戦略の提出が必要となる。総務産業建設常任委員会では、商工観光課の提示した素案を精査し改善点を指摘した。

主な指摘内容は以下のとおり。

- ・経営戦略なのだから資金の出処をはっきりさせること
- ・広域観光に触れること
- ・戦略検討委員に酒造関係者を入れるべき



資金については、DMO取得に必須である法人格取得のメリットを活かし自主事業から得るのか、行政からの補助に依存するか方向付ける必要がある。また、別途見直されるブランド戦略や交通計画の策

定が2026年度になるとのことで、それらと整合を取るために一旦2025年度中に策定するこの戦略の改訂が必要になる。

2026年度には役場商工観光課が観光DMOを目指す「まちづくり株式会社ZENコネクト」と同一建物に移転するので、連携の取れた見映えのする戦略の策定が期待出来る。しかし実行出来なければ意味はないので、先行事例を参考にしつつ現実的で且つ実行可能なアクションプラン策定が望まれる。なお、観光DMOの登録については、早ければ令和8年度中を予定している。



■近助タクシーが上志比地区でも運行

議会と語る会でも話題とする（内容は前号）など当委員会で研究を続けてきた、公共交通についての新たな動きが出てきた。この号が出る5月までにドライバー確保の目処が立ったとのことで、上志比地区でも近助タクシーの運行が始まる。

昨年10月に導入した停留所を利用したデマンド型タクシーの後継でよりサービスアップを図る取り組み。近助タクシーは、ドアtoドアや安価な料金など利用者にとって利便性が高いので、利用促進が期待されるが、人材確保など継続的な組織運営については、地域の協力が不可欠となる。





# 私の考える

## 地域づくりの

### ポイント POINT



## は？

### 新たな時代になりつつある



**中村 勲太郎** 議員

今の時代、価値観が多様化する中でこそ、田舎に残って戻って、移住して、自己実現を目指す新しい時代のチャンスだ。地域の宝を皆で盛り上げ皆で活用する地域づくりを！

### 支え合いの地域づくり



**川崎 直文** 議員

高齢化が進み、高齢者支援（見守り、買い物・移動の支援、交流の場の提供等）は必須。  
住民同士がつながり、高齢者支援を行う。

### 人間ですから、共に語り合うことから



**金元 直栄** 議員

災害などあれば、地域のこと、どうする...と、挨拶から始め、声かけ、催しへのお誘いから、楽しみの分け合いへ。

### 永平寺町サイフ 最大限活用で町民活動の活発化を



**清水 憲一** 議員

永平寺町サイフ  
これをうまく活用すれば町民が積極的に地域活動や健康管理、フレイル予防などに大きく貢献するツールとなり得る。

### 地域づくりは土台作り



**齋藤 則男** 議員

地域づくりは、目指すまちの姿を実現するための土台づくりです。多様な主体による協働体制の構築や地域力の向上を図る取組みなどを通じて、まちの主役になる「ひと地域」の進化を後押しします。

### しゃべることから始まる



**松川 正樹** 議員

こんな「まち」にしたいとか、こんな「まち」だったらいいのにとか無数に考えているはず。  
それをいかに発信するかです。要は問題意識です。

### 住民による政策探求活動の取り組み



**酒井 圭治** 議員

地域教育力のアップから地域コミュニティのリスミカルな展開を図り、その変容から新たな価値創造による社会モデルを構築する。

### 元気な高齢者の活用



**長岡 千恵子** 議員

高齢化していくことはすべての人が歩む道。  
心身ともに元気な高齢者の持っている知恵と技術が活用できる地域貢献制度の構築。

### 挑戦の場を広げる



**清水 紀人** 議員

挑戦の核となる外部人材や企業を呼び込み、永平寺町の住民を巻き込んだ活動・挑戦の場を広げることが地域づくりの鍵。

### ゼロベースでスクラップアンドビルド



**森山 充** 議員

地域や組織には適正規模があるし、人間の能力には限界がある。地域や組織の統廃合から新たな地域おこしの芽が出るかもしれませんよ。

### ひと・リーダー・集まる拠点



**滝波 登喜男** 議員

地域づくりは一朝一夕にはできない。そこには強い意志を持ったリーダーとその仲間、そして集まる場所が必要。

### ワイワイ・ガヤガヤの居場所と皆の参加意識!!



**上田 誠** 議員

皆が集まりワイワイ・ガヤガヤの「場」と、皆が集まり困り事や課題を出し合い、今後の未来や夢を語り合う「機会」を設けて、参画への意識醸成と「コミュニティ回復の「地域力」の向上!!

### 地域プレイヤーの発掘と育成



**楠 圭介** 議員

社会構造の変化に対し、地域の体制がついていかない。  
世代交代を進めるために地域プレイヤーの発掘と育成の「仕組みづくり」が急務。



議案第28号 監査委員の選任同意について 任期満了に伴う再任 前川 次夫氏(鳴鹿山鹿)	同意	諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について 前任者退任に伴う新任 坪川 光一氏(諏訪間)	適任
議案第29号 教育委員会委員の任命同意について 任期満了に伴う再任 桑原 さとみ氏(轟)	同意	選挙管理委員及び補充員の選挙について 任期満了に伴う新任及び再任 管理委員4名 補充員4名	推薦
議案第30号 上志比中学校旧プール 公園整備工事(その2)の請負契約締結について 契約金額597億5200万円 契約相手方 株式会社市岡組	可決	陳情第1号 「地域医療・介護を崩壊させないために機敏な診療・介護報酬改定を求める意見書」の採択を求める陳情書 令和8年度診療報酬改定及び財政支援等2項目	採択
議案第31号 緑の村ふれあいセンター多目的ホール天井耐震工事(建築)の請負契約締結について 契約金額721億6000万円 契約相手方 清川建設株式会社	可決	発委第1号 「地域医療・介護を崩壊させないために機敏な診療・介護報酬改定を求める意見書」の提出について 令和8年度診療報酬改定及び財政支援等2項目に係る国への意見書の提出	可決

## 議案への賛否一覽

議席順に掲載(賛 賛成 反 反対 一欠席 □退席) ※議長(酒井圭治)は採決に加わりません

	中村	長岡	川崎	朝井	清水紀	金元	森山	清水憲	滝波	齋藤	上田	松川	楠
議案第2号	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第5号	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第17号	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛
議案第18号	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛
議案第19号	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛
議案第20号	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛
陳情第1号	反	反	反	反	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛
発委第1号	反	反	反	反	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛

※反対または退席があった議案だけ掲載しています。したがって、その他の議案等については全員賛成です。

# 議案への賛成反対討論

## 議案第2号 行政組織条例の一部を改正する条例の制定について

**反対討論**  
金元 直栄  
本町防災安全課の業務に「8自衛隊員の募集に関すること。」を加えることは反対だ。今の自衛隊は、他国の起こした戦争への協力で、海外へ派兵が現実味を帯びている。行政が隊員を募集することは、戦前の「赤紙」を思い出し、認められない。

**賛成討論**  
滝波登喜男  
自衛隊に関する事務は、国からの「法定受託事務」なので、これを除くことはできない。よって賛成とする。

## 議案第5号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

**反対討論**  
金元 直栄  
国は、子ども子育て支援金として、医療などの社会保険から人头割で拠出するとし、その拠出金の捻出に町の苦勞した結果が条例の改定で、国保加入者の負担増にならぬように考えた結果については評価するが、目的別で集めた医療保険からの拠出そのものが認められないことから反対だ。

**賛成討論**  
上田 誠  
少子化に有効な施策もなく人口減少に歯止めがかからず、その財源(国民負担)を今後も子ども子育て支援金として社会保険に上乘せは筋違いであり、別に求めるべきであり反対である。しかし、今回の条例の改定はその増加分を基金繰入 処理等で負担軽減を図った対応は評価すべきであり、今回の条例改定案(国保運営協議会の裁断)に賛成する。

## 議案第17号 令和8年度一般会計予算について

**反対討論**  
金元 直栄  
町民生活にとって必要な予算のあることは認めるが、今議会で見えてきたことは、①町自らが保育園を運営しているのに、公的保育の優位性が論じられず、安易に「民営化」の話が出てくる。また、保育士不足は民間でも同じで、民間に任せれば何とでもならない。②町長は、本町の職員は、保育園や消防など直営でやっているから職員の数が多い、一方事務職は少ないとよく口にしますが、本町は消防や保育に責任を持ってやっているの外に向かって言えないのか。③社協に委託しているボランティアセンターの運営についてよくつかんでいないと答弁。しかし、災害時には町がつかずまずに誰が方針を伝えるのか。④A1の活用は、

役場で働く職員の負担軽減や町民の生活を良くするために活用するのか、全く逆に働く職員にとって変わるために利用するからなのか。企業のロボット導入の二の舞にならないようにすべきだが、その方向は見えなかった。等の理由で反対する。

**賛成討論**  
森山 充  
賛成の立場で発言する。概ね妥当とは言い難い。例えばえい坊館の運営については、運営方針の速やかな策定などスピード感を持ってほしい。しかし、今回は骨格予算ということで6月補正予算に期待し賛成する。

## 令和8年 第1回臨時議会報告

令和8年第1回臨時議会は、1月21日(水)に開催されました。審議された内容は次のとおりです。

### 第1回臨時議会議案

議案第1号 令和7年度一般会計補正予算について 歳入歳出 補正額 3億5692万5000千円 増額 物価高騰対策として、町民一人当たり1万円の生活応援券の発行、子ども一人当たり2万円の子育て応援手当の支給等	可決
---	----

※議長(酒井圭治)は採決に加わりません。議案第1号については全員賛成です。

## 令和8年 第2回定例会報告

令和8年第2回定例会は、3月2日(月)から3月23日(月)に開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

### 第2回定例会議案

承認第1号 令和7年度一般会計補正予算の専決処分の承認について 歳入歳出額 6432万4000円増額 衆議院選挙関連費用及び除雪委託料等	承認	議案第13号 令和7年度一般会計補正予算について 歳入歳出額 17億2310万6000円増額 禅の里温泉空調設備改修工事及びスマート経営改革補助金等	可決
承認第2号 令和7年度一般会計補正予算の専決処分の承認について 歳入歳出額 1589万4000円増額 除雪委託料等	承認	議案第14号 令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算について 歳入歳出額 426万1000円増額 過年度国庫支出金等返還金	可決
承認第3号 損害賠償の額を定めることの専決処分の承認について 四季の森複合施設における物損事故にかかる損害賠償等	承認	議案第15号 令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算について 歳入歳出額 15,631千円増額 後期高齢者医療広域連合納付金	可決
承認第4号 損害賠償の額を定めることの専決処分の承認について 公用車による物損事故にかかる損害賠償等	承認	議案第16号 令和7年度土地開発事業特別会計補正予算について 歳入歳出額 37,817千円増額 一般会計貸付金償還金	可決
議案第2号 行政組織条例の一部を改正する条例の制定について 各所属における所掌事務の変更に伴う一部改正等	可決	議案第17号 令和8年度一般会計予算について 歳入歳出額 99億7166万5000円 民生費33億6005万4000円 総務費17億5203万2000円等	可決
議案第3号 放課後児童健全育成事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 町行政組織条例改正内容を含む町放課後児童健全育成事業運営内容の一部改正等	可決	議案第18号 令和8年度国民健康保険事業特別会計予算について 歳入歳出額 15億8406万円 保険給付費11億7187万円 国民健康保険事業費納付金3億6487万円等	可決
議案第4号 附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について 地域公共交通会議の担任する事務範囲拡大に伴う一部改正等	可決	議案第19号 令和8年度後期高齢者医療特別会計予算について 歳入歳出額 3億9201万7000円 後期高齢者医療広域連合納付金3億8289万2000円等	可決
議案第5号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 町国民健康保険運営協議会答申及び国民健康保険法改正に伴う一部改正等	可決	議案第20号 令和8年度介護保険特別会計予算について 歳入歳出額 21億6805万8000円 保険給付費20億2407万4000円 地域支援事業費1億551万5000円等	可決
議案第6号 介護保険条例の一部を改正する条例の制定について 介護保険法施行令改正に伴う一部改正等	可決	議案第21号 令和8年度町立在宅訪問診療所特別会計予算について 歳入歳出額 1億5419万5000円 総務費837万2000円 医療費1億4582万3000円	可決
議案第7号 火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について 林野火災予防の実効性をより高めるための一部改正等	可決	議案第22号 令和8年度土地開発事業特別会計予算について 歳入歳出額 66万円 土地開発事業費66万円	可決
議案第8号 火災予防条例の一部を改正する条例の制定について サウナ設備に関する規制追加及び感電ブレーカー普及促進にかかる一部改正等	可決	議案第23号 令和8年度上水道事業会計予算について 水道事業収益3億4976万9000円 水道事業費用3億1733万5000円 資本的収入1億7560万円 資本的支出3億847万2000円	可決
議案第9号 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について こども誰でも通園事業創設に伴う制定	可決	議案第24号 令和8年度下水道事業会計予算について 下水道事業収益6億5668万7000円 下水道事業費用7億2041万2000円 資本的収入1億3366万9000円 資本的支出2億9285万2000円	可決
議案第10号 特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について こども誰でも通園事業実施に伴う要支援乳幼児への適切な連携のための制定	可決	議案第25号 過疎地域持続的発展計画の変更について 令和8年度から令和12年までの計画期間変更等	可決
議案第11号 合併特例基金条例の制定について 合併特例債を活用した基金設置のための制定	可決	議案第26号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について 公共的施設の整備を必要とする事業に東部送水ポンプ場送水ポンプ更新を追加	可決
議案第12号 住民基本台帳カードの利用に関する条例を廃止する条例の制定について 住民基本台帳カードの有効期間満了に伴う廃止	可決	議案第27号 令和7年度一般会計補正予算について 歳入歳出額 894万円増額 上水道事業負担金	可決

# そこが聞きたい!

## 一般質問という名の政策提案

11名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき、質問議員本人がまとめています。



一般質問議事録はこちらから

### 一般質問 目次 ▶YouTubeでも視聴できます!

- 12p 森山 充**
  - ◇農福連携について
  - ◇福祉団体の育成について
- 12p 楠 圭介**
  - ◇食の拠点
- 12p 長岡千恵子**
  - ◇えいパークとえいスポーツの運営は
  - ◇育児休暇取得者の仕事のフォローは
- 13p 齋藤 則男**
  - ◇町長に問う
  - ◇町の公共工事について
- 13p 清水 憲一**
  - ◇地域を次世代に継承していくために
- 13p 川崎 直文**
  - ◇デジタル活用による持続可能なまちの実現は
- 14p 清水 紀人**
  - ◇永平寺町における保育の今後の在り方について
  - ◇給食費無償化による財政的变化と今後の活用について
  - ◇部活動の地域移行について
- 14p 金元 直栄**
  - ◇学校給食費、浮いた財源は教育に
  - ◇本町で購入しやすい宅地の価格は
  - ◇社会保険から子ども子育て支援金分の徴収根拠は
- 14p 上田 誠**
  - ◇まちづくりの両輪は住民の健康と支え合い
  - ◇福井県の教育改革は“チーム担当制”当町での対応は
- 15p 松川 正樹**
  - ◇地区振興会のない地域があるが
  - ◇「松岡藩と城下町を知ろう」の講演を聞いて
  - ◇なんど坂が見えてきた
  - ◇町長は「地域コミュニティが成立しなくなっている」とおっしゃるが
  - ◇今までの除雪の事を少し振り返ります
- 15p 滝波登喜男**
  - ◇選挙の投票結果から
  - ◇関係人口・交流人口の創出
  - ◇町長所信について

### 議案第18号 令和8年度国民健康保険事業特別会計予算について

#### 反対討論

金元 直栄

子育て支援金の拠出では、町は苦勞されたことは素直に評価する。しかし、① 子育て支援金をどうして社会保険、それも目的別に設けられた保険から拠出させるのか。目的外の異常な拠出となっている。② 国税の負担は重い、その最高限度額が毎年のように引き上げられていることも加え、反対する。

#### 賛成討論

森山 充

賛成の立場で発言する。制度の存続に有用なので賛成する。

#### 賛成討論

長岡千恵子

子ども子育て支援金については18歳以上の国民が負担することになった。子どもの減少が進行することは国民にとって大きな課題である。出生数の増加を望むことから国民で支援することは必要。ただし、本町の国民健康保険税については子ども子育て支援金相当額を基金および繰越金から補填する事とし、保険税を軽減している事から賛成する。

### 議案第19号 令和8年度後期高齢者医療特別会計予算について

#### 反対討論

上田 誠

当会計予算に子ども子育て支援の国民負担を国保同様に社会保険からの徴収はすじ違いである。また、団塊世代の移行で加入者の増があるものの、年金生活者が全てである高齢者から平均17000円以上の税負担増加は今後の生活に占める医療・介護・物価等の増加を考えると、ありえない改定である。よって反対する。

#### 賛成討論

森山 充

賛成の立場で発言する。概ね妥当なので賛成する。

#### 反対討論

金元 直栄

子ども子育て支援金をこの会計から拠出させることは、目的外の拠出となること。さらに、保険料が1人当たり年間17,000円も引き上げることは認められない。

#### 賛成討論

長岡千恵子

子ども子育て支援金は18歳以上の国民が負担する。健康保険は皆保険であることから18歳以上の国民に公平な負担が可能となる事から賛成する。

### 議案第20号 令和8年度介護保険特別会計予算について

#### 反対討論

金元 直栄

町社会福祉協議会の経営状況から、コロナ以降、通所や訪問系のサービス提供事業所の経営が悪化している。また、訪問介護サービス提供事業所は、国の報酬引き下げで、全国で撤退が相次いでいる。行政は

この分野への支援を強化すべきで、町実施の総合事業等は報酬の改定はすぐにはできないこと。また、事業内容の充実も見られない。以上から反対する。

### 陳情第1号 「地域医療・介護を崩壊させないために機敏な診療・介護報酬改定を求める意見書」の採択を求める陳情書

#### 賛成討論

金元 直栄

現在、県立病院では18億円の赤字、大学病院等、総合病院の7割が赤字経営となっている。介護保険でも訪問介護サービスの報酬引き下げ以降、全国で事業所の撤退が相次いでいることから、早急に診療や

介護報酬の見直しを求める陳情。次に示される意見書の提出も含め、採択をすべき。

### 発委第1号 「地域医療・介護を崩壊させないために機敏な診療・介護報酬改定を求める意見書」の提出について

#### 反対討論

長岡千恵子

診療・介護報酬の見直しに対し、看護師や介護士の報酬の見直しについては手がないことや処遇についても厳しいものがあると思われる。その一方で、医師の報酬は、ほかの職種と比較して高

額であると認識している。診療報酬の見直しを行えば、必然的に健康保険料や医療費の個人負担の増額に繋がるので、反対の立場をとる。

## 4期目の町長に問う

齋藤 則男 議員



一石二鳥ではなしに一石三鳥四鳥を目指しながら取り組んでいきたいと思っている。常にチャレンジ、その先には町民の幸せと笑顔がある、そういった取り組みをしっかりと進めていきたい。

**問** 4期目の町長に問う。これまでの、3期12年間で振り返った反省は、やりたかったができなかった、やれなかったこと等がいくつかあると思う。大きく変わった、変えたと思うところはありますか。そして、過去を振り返った反省をもとに、新たな4年に向かっての、取り組みたいこと等について、思い切った大きな新たな取り組みを期待する。国や、県の顔色をうかがうのも大事なことが、受け身や待っている町政でなく、攻めの町政如何か。町は一つの企業だという発想の転換。これまでのありきたりの流れにこだわることない政策に取り組んでいただきたい。上志比地区の過疎や、北地区の辺地等暗いことではなく、逆手に取った施策を期待するがどうか。町長 12年前を振り返ると、町民が主役で強い永平寺町を造るということで始めてきた。自分がこの町政を預かった中で多くのところを変えてきたというふうになっている。

## ボランティア育成の目標達成見込

森山 充 議員



**問** 農業と福祉の連携の現状と課題は。農林課長 町内農業者における取組はない。農業者の求める作業と障害者側の出来る作業内容のマッチングが課題なので、解決に向けては研修会等の開催で制度の周知を行なっていく。福祉保健課長 岩野地区に事務所を構える事業者で取り組んでいる。現場への職員同行の不都合など福祉事業所の人手不足が課題なので、制度の役割を周知することで意欲ある事業者の掘り起こしを考えている。町長 積極的に推進していきたい。

**問** 社会福祉協議会（以下社協）の経営の現状と課題は。福祉保健課長 行政だけでは出来ない福祉ニーズに応えるため、社協を含む9団体に約7千万円の支援を行なっている。人材不足が課題となっており、有償ボランティアの活用を考えている。町長 コンサルタントを入れて社協の経営改善を考えている。支援策を6月補正で予算に反映させる。



社協の車両

**問** 総合振興計画に掲げるボランティア育成の目標達成見込は。福祉保健課長 団体数については達成困難と考えている。

## 地域を次世代に継承していくため

清水 憲一 議員



**問** 地籍調査のメリットとして1土地の権利関係が明確になる。2土地の整備 開発がスピーディーに。3大災害時に境界復元が速やかにできる。本町における進捗状況は。農林課長 12地区で実施。完了8。国承認待ち2。承認予定1。中断1。令和8年度、新たに1予定。町全体の10%以下に留まる。



地籍調査

**問** 地域で行われている祭りにおいて、神社内のお飾り等に対して補助できないか。生涯学習課長 祭りについては、地域交流に寄与していると認識している。神社行事のための設備については政教分離の点から補助は難しいと考える。町長 政教分離により難しい。何らか別の形にて、地域づくりの支援ができないか考えたい。

**問** 来年度予算にも計上されているが問題点は何か。農林課長 立会いを行うと、地境の確定時に個人間の問題が出てくる。また面積が増え、固定資産税が上がってくる。結局は昔からの感情論により、なかなか話として詰まっらない。

## 学校給食を再整理する好機では

楠 圭介 議員



**問** 本町は一般会計から学校給食の無償化を実施しているが、今後は国の政策として学校給食無償化が実施される見込みであり、町の財政負担が一定程度軽減される可能性がある。これは学校給食を取り巻く政策を中長期的な視点で再整理するには好機ではないか。また、現在検討されている給食センター整備を単なる調理施設でなく、防災や福祉の機能を備えた多機能型へ位置付ける考えは。町長 学校給食にかかる約4,000万円を国が負担してくれるようになるが、子育てに関する支援も新たなサービスがたくさん生まれてきており、4月から病児保育がオープンしたり、こども家庭センターにおいて相談件数の増加が見込まれるため専門的な職員の雇用が必要になったりと、これから本当に必要なサービスにどのように落とし込んでいくかを大事に考えていく。給食の在り方についても色んな考え方、色んな組合せで相乗効果を見込めるように、そして将来の財政負担などを全てを整理しながらしっかりと対応したい。



## デジタル活用による持続可能なまちの実現は

川崎 直文 議員



### 公共施設予約システム

インターネット等を通じ「施設の空き状況」と「施設案内」を確認し、予約する。



学校施設 文化施設  
体育施設 社会教育



**問** デジタルを活用した行政サービス提供による町民の利便性向上の取り組みは。総合政策課長 公共施設予約システムを、体育、学校、社会教育・文化の26施設で導入。7割の団体が予約システムで申し込みいただいている。申し込みのサポートをさせていただき、システム利用を促進する。生活情報、緊急情報を発信している町の公式LINEの登録者は5,274名。さらに住民サービスにつながるLINEの充実を図る。えい住支援課長 今年度の空き家の成約が14件で過去最高となった。空き家を有効活用し定住を促進する「空き家メタバンク」の効果があった。令和8年度も運用する。（空き家メタバンクでは画像生成AIが空き家のリノベーションイメージを作成する。）福祉保健課長 健康診断、がん検診の受診、えいウオーク教室、健康フェア等への申し込みを電子申請で受付している。

## えいぱーくとえいスポーツの運営は

長岡 千恵子 議員



**問** えいぱーくとえいスポーツの利用状況は。子育て支援課長 えいぱーくの利用者数は12月は3035人、1月は6550人、2月は5628人。町内町外の比率は1月が町内34%、町外66%。2月が町内22%、町外78%。

**問** えいスポーツの利用者は12月が151人、1月が258人、2月が289人。利用者が多いので、町内の子ども達に十分に遊べるのか。子育て支援課長 えいぱーくは子ども利用の上限を120人に設定している。土日祝日は保護者の来場が多く、施設内の入場総数が多い傾向にあるが、実際に遊ぶ子ども数は適正であり、十分に遊べる状況と認識。

**問** えいぱーくの現状から、今後の運営方法は。子育て支援課長 駐車場については、翠荘駐車場、松岡デイサービス北側、松岡中学校グラウンド横北側を確保しており不足はしていない。町長 室内の公園という位置づけで、保護者が子どもを見守るといったスタンスで無料で考えている。冬期間等の週末の利用の推移を見て町民の方優先の時間の設定について今後検討していく。

## 松岡藩の魅力を知り、全力でアピールを

松川正樹議員



**問** 先月、松岡公民館で 南先生の「松岡藩と城下町を知ろう」の講演を拝聴した。私は以前から注目されている「十二曲がり」に関心があり、さらに学びたく出かけたのだが、実際の講演は十二曲がりのみならず、松岡藩そのものの魅力を多く語られたもので、改めて松岡の光を県内外にアピールしなければと再認識した。聞けば十二曲がり保存会も結成されたそうだ。今後の展開に期待する。本当にたくさんの方々が来町された。体全体で頷きながらの方もいた。以前は小学校の先生方が子どもに直接教えた時代もあった。町はもう一回構え直し、えい坊館を拠点に松岡藩を深掘りし、再発信する。商工観光課と生涯学習課がもっと連携してほしい。松岡藩と福井城の共通点もあり、「大手門」を将来復元したいという方も出てきた。夢は大きく。

生涯学習課長 松岡十二曲がり保存会は、沿線の有志の方々が設立される団体。町家の保存や町並み、景観などに意見を出し合う。他の歴史文化の伝承についても情報発信していく。

町長 保存会の設立によって国の補助金を活用できたかと願っている。数年間かかる大きな事業。

## 保育の今後の在り方について

清水紀人議員



**問** 町では、保育士不足への対応として、処遇改善や人材確保策など様々な施策を講じており、いずれも前向きな取り組みとして評価できる。一方で、全国的には公立保育園の民間移行が進んでおり、中長期的な運営の在り方を検討することが重要。こうした動向を踏まえ、本町においても将来的な保育体制の方向性、民間園の比率を高めていくことについて検討を開始すべき。

福井県で幼保連携型認定こども園は、令和7年4月1日現在で156園ある。永平寺町では「みどり葉こども園」の1園にとどまっている。多様化する保育ニーズに対応するうえでも、認定こども園の活用は重要。国の制度や補助を活用でき、施設整備や運営も、認定こども園向けの各種支援制度を活用することが可能。利用者のニーズを高めてほしい。

子育て支援課長 町民の認識や行政改革の視点も踏まえ、今後の園の在り方について検討を進める必要があると考える。

町長 永平寺町の子どもにとって最適な姿でビジョンをもって進める。



**二次交通の対策を**  
**問** 県外からの観光客を呼び込むための課題の一つに、二次交通の充実が挙げられる。例えば、今の自動走行を活用して、本山と永平寺口駅を往復できないか。

町長 マイロードは便利な道だが、レベル4以外の区間は、一人乗車するため人件費がかかる。県や近隣市町に広域的にバスの運行ができないか働きかける。

## 選挙投票率を上げるために

滝波登喜男議員



**問** 選挙は国民が政治に参加し、主権者の意思を政治に反映させる最も重要な基本的な機会である。しかし、投票したくても様々な理由で行けない人がいる。ある自治体はその理由に真剣に向き合い、解決策を講じている。ワゴン車を投票所に改装して集落を定期的に巡回している島根県浜田市。駅や商業施設に期日前投票所を設け、市営バスで来られる人にはその運賃を無料にしている三重県桑名市。本町ではどのような取り組みをしているのか。

総務課長 投票率は、衆院選60.54。知事選50.59。全投票の中の6〜7割は期日前投票となっている。本町では御陵地区の商業施設で土日のみ投票所を開設。また投票所を減らした6地区には、投票日前日に集落センターで開設している。

## 給食無償化で浮いた財源は教育に

金元直栄議員



**問** 町内の宅地開発は、上志比・永平寺地区では行政により、松岡地区は民間業者でいうが、移住の条件に安価な地価がある。民間開発と町の開発では相当額民間は高くなるが、

えい住支援課長 町が上志比・永平寺で宅地造成を進めたのは、民間業者何社かに聞き取りを行った結果、売れ残りが想定されるため、開発は難しいことから、町が開発を行っている。

**なぜ社会保険から子育て支援金の拠出か**  
**問** 国は、子ども子育て支援金の財源を社会保険から徴収することにした。国保や後期高齢医療の保険料からも1人当たり年間数千円以上が徴収されるが、目的別の保険料からの徴収は認められるのか。

住民税務課長 国は将来の健康保険制度の担い手の育成を支援し、制度の維持につながるため、保険料からの拠出は目的の範囲内だという。

## まちづくりの両輪は住民の健康と支え合い

上田誠議員



**問** 町民の健康づくりの3次保健計画「元氣長生き11プラン」の具体策は。

町長 町民の認識や行政改革の視点も踏まえ、検討を進める必要があると考える。

福祉保健課長 計画の基本方針として①健康的な生活習慣の推進と重症化の予防②健康を支える社会環境の整備③こころの健康づくり。

**問** 支え合いの地域共生社会の実現に向けた4次地域計画の具体策は。

福祉保健課長 計画の地域で支え合う土台づくりは、①福祉に対する意識の向上②人と人が支え合う仕組み③地域活動の担い手育成。

**問** 住み慣れた地域で健康で安全安心な暮らしは「地域力」(人・組織・繋がり・資源・行動)と言われている。支援は。

町長 各々の課単独でなく、全庁的な連携で支援し、住民と協働して推進する。

**教育改革、チーム担任制、当町では**  
**問** 県教委は基本計画でチーム担任制を試行。固定担任(1人)→チーム担任(複数)当町での対応は。

教育長 チーム担任制という言葉は使っていないが、学校現場に合わせて(学年・複数学年)チームとか教科担任制を実施している。

**問** 地域との関わる(繋がる)部門も必要でないか。

教育長 永平寺愛の言葉で地域に出ている。今後も推進していく。

### 3月議会 再放送日程

5月11日(月)～約2週間ほど 毎日放送  
毎朝6:00～ 夜24:00～  
約2時間番組



令和8年3月定例議会のケーブルテレビでの再放送日程は、5月11日(月)から2週間ほど、毎日朝6時から2時間と24時からの2時間、同一内容を放送致します。放送内容は会議日程の順番に沿って毎日変わります。議会生中継をご覧になれなかった方、興味のある方は是非ご覧ください。

# インタビュー! interview!!

(一社) 九頭竜川パドリングセンター  
代表理事 佐野 洋介さん



## この川から、 世界へ。

### 目標 フリースタイルカヤック W杯及び世界選手権誘致!

### 鮎釣り+カヤックの共存共栄で 九頭竜川を世界へ発信!

今回のふるさと納税の対象は川下りコースの整備等  
どの事ですか?

ナミノバ(上級者向け)、シカノバ(初心者向け)の間である中級  
コースを構想しており、福井県や漁協の方々と今後綿密な打ち合わ  
せをしながら進めていきたいと考えています。



中級コース設置もW杯及び世界選手権の誘致に向けて  
という事でしょうか?

それもありますが、W杯及び世界選手権にはジュニア部門もあり、地  
元福井のジュニア選手の大会出場に向けて、その育成コースとして位  
置付けております。もちろん永平寺町の観光資源としても大いに活用  
していただきたいです。

そもそもW杯及び世界選手権の誘致を目標に掲げた  
理由は?

九頭竜川は世界に誇れる素晴らしい地域資源です。これを活かして  
地元を盛り上げたいと思いました。カヤックを通じた国際交流から今  
までに無かった新しい文化や活動が福井に生まれる事を一番の楽し  
みにしています。



(一社) 九頭竜川  
パドリングセンターQR

次回定例会は

6月2日(火)  
開催予定

議場で傍聴できます。ぜひお越しください!

役場本庁舎3階までお上がりください。  
エレベーターもございます。事前申込不要!



議会HP

永平寺町議会だより **みでの** 第82号

<https://www.eiheiji-gikai.jp/>

発行 永平寺町議会

編集 議会広報特別委員会

議会日程や議事録が閲覧できます。

